



しがCO2
ネットゼロ
ムーブメント



令和4年度滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画

進捗状況(案)について



令和6年2月9日
滋賀県総合企画部CO₂ネットゼロ推進課

1. 計画期間

長期目標を見据え、2021年度(令和3年度)から2030年度(令和12年度)までの10年間(今後の社会経済情勢等の変化に対応するため、概ね令和7年度を目途に中間見直しを行うこととする。)

2. 目指すべき将来像

2050年のCO₂ネットゼロの実現に向けて実施する「地域づくり」「人づくり」「社会経済活動」など、あらゆる取組によって、**単に温室効果ガス排出量を削減するだけでなく、様々な形で地域課題の解決や地域の活性化が実現する姿**を目指す。

3. 温室効果ガス削減目標

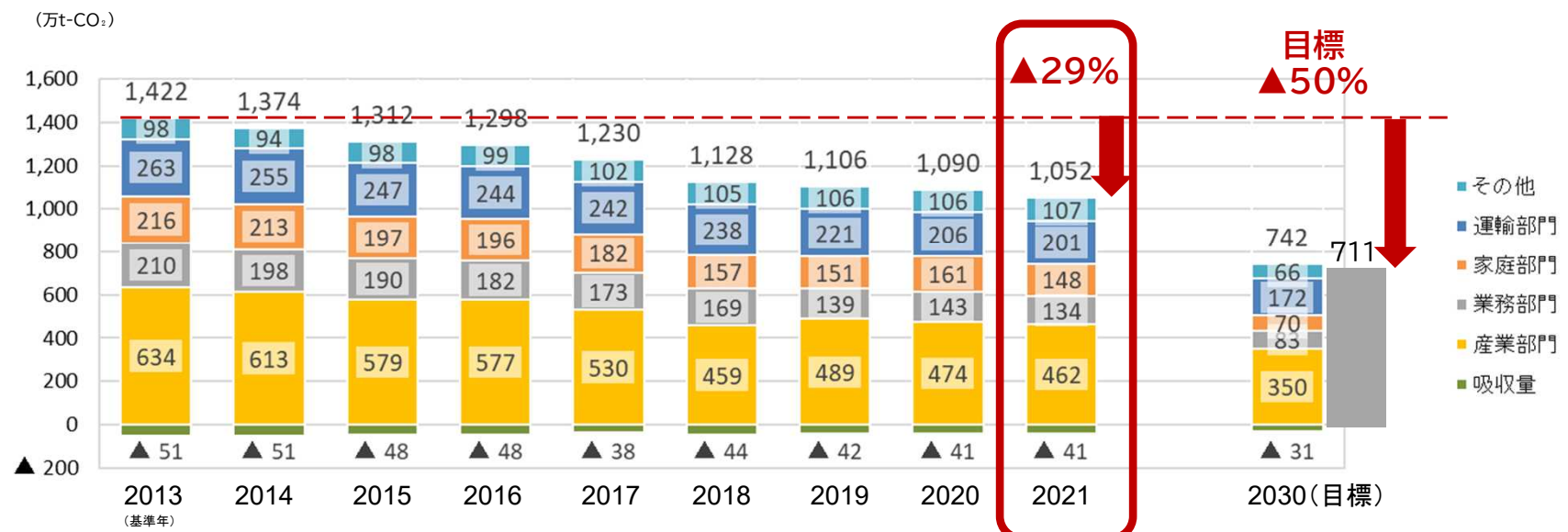
排出削減・吸収量の確保により、2030年度において、2013年度比**50%減**を目指す。

4. 計画の体系

CO₂ネットゼロ社会の実現に向けて、次の8本の柱に沿って取組を進める。

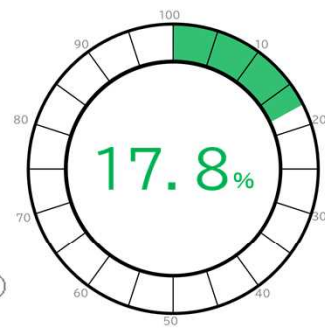
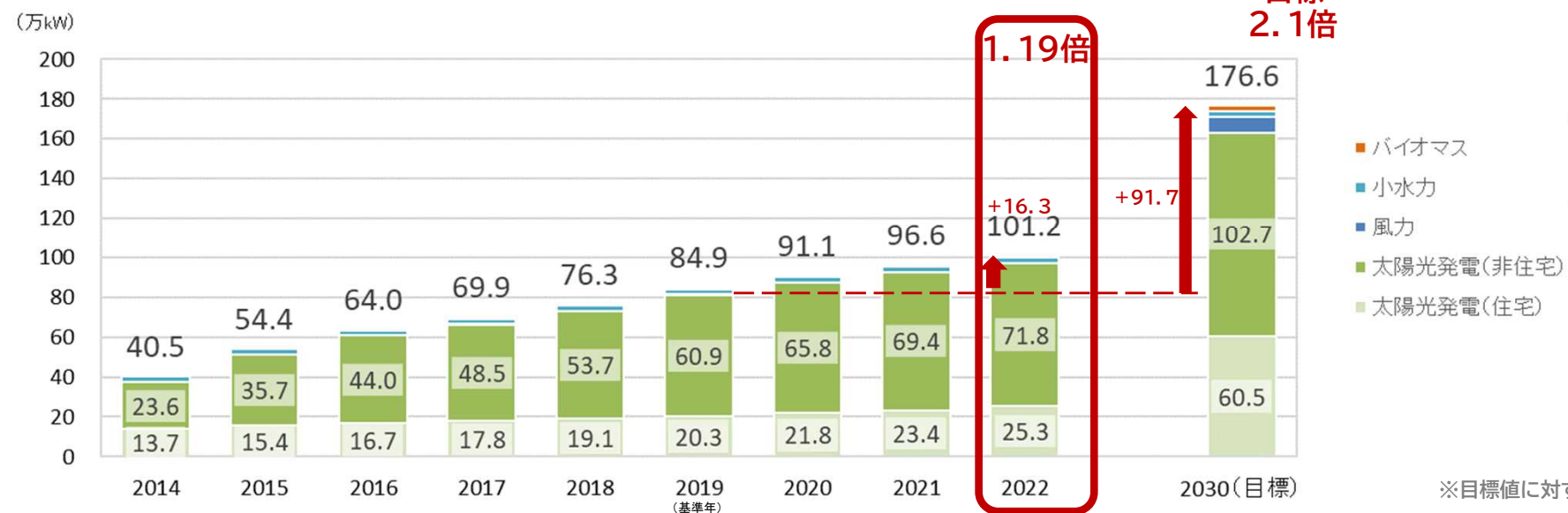
中期目標の進捗状況

■温室効果ガス排出量 ※実績値の詳細報告については、「[滋賀県における温室効果ガス排出実態\(2021年度\)について](#)」を参照



※2013年度から2021年度までの吸収量は森林吸収量(林野庁提供データ)のみの値

■再生可能エネルギー導入容量



※目標値に対する進捗は、57.3%

CO₂ ネットゼロ社会づくりへの挑戦

CO₂を排出しない社会づくり

1. CO₂ ネットゼロにつながる
快適なライフスタイルへの転換

2. 自然環境と調和するCO₂を
排出しない地域づくり

5. 革新的なイノベーションの創出

6. CO₂ ネットゼロ社会に
向けたムーブメントの創出

7. 気候変動への適応

3. 新たな価値を生み出し
競争力のある産業の創出

4. 資源の地域内循環による
地域の活性化

8. 県における率先実施

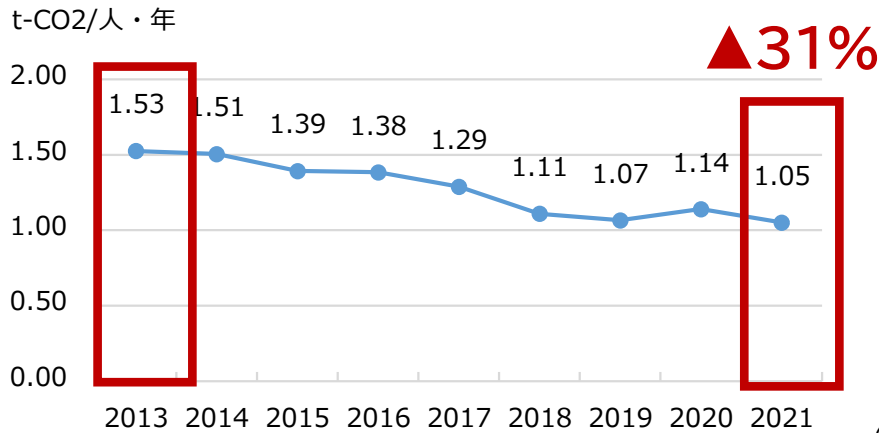
地域・経済の活性化

対策数値指標1

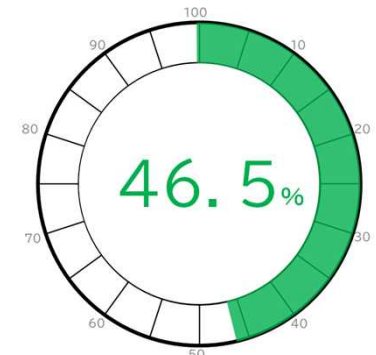
2030年度目標

県民1人あたりのCO₂排出量 67%削減(2013年度比)
 県内の乗用車の新車販売に占める次世代自動車等の割合 70%

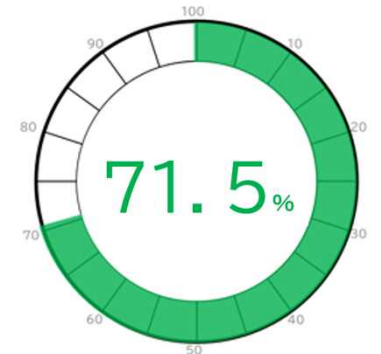
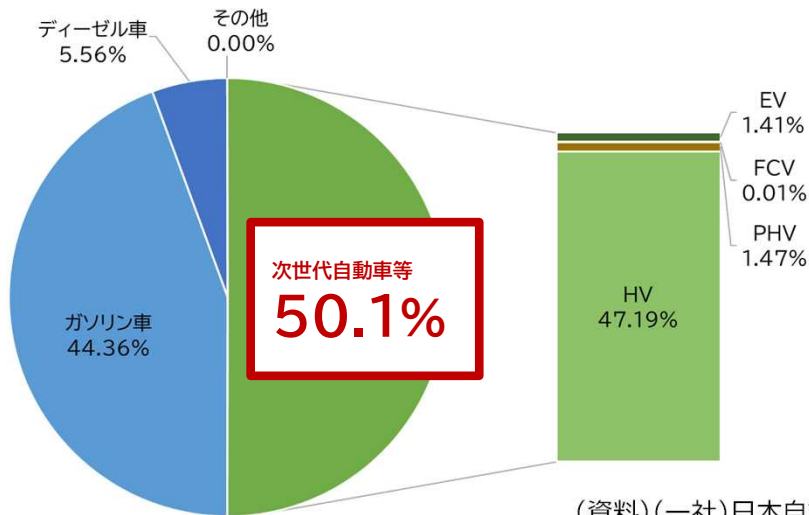
■県民1人あたりの二酸化炭素排出量



目標に対する
進捗率



■県内の乗用車の新車販売に占める次世代自動車等の割合



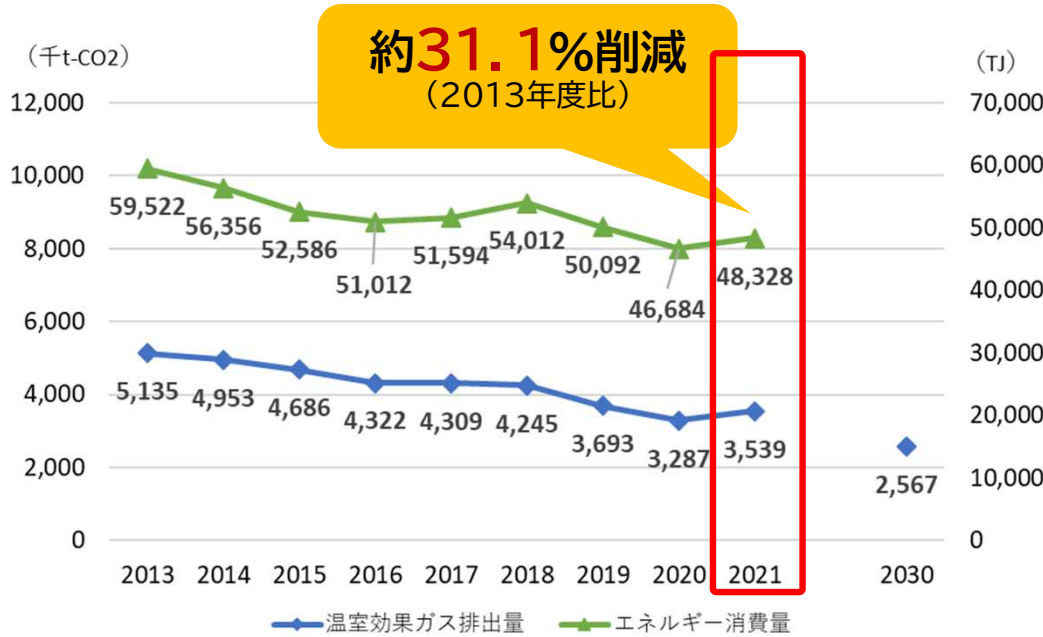
(資料)(一社)日本自動車販売協会連合会「新車登録台数年報(第46集)」を用いて作成

対策数値指標2

2030年度目標

事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減量 50%削減(2013年度比)
EV・PHV用の充電器設置台数 急速充電器 390基 普通充電器 1,560基

■事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減量(製造業のみ)



(参考)事業者行動報告書等を提出した県内事業者(義務提出者)数

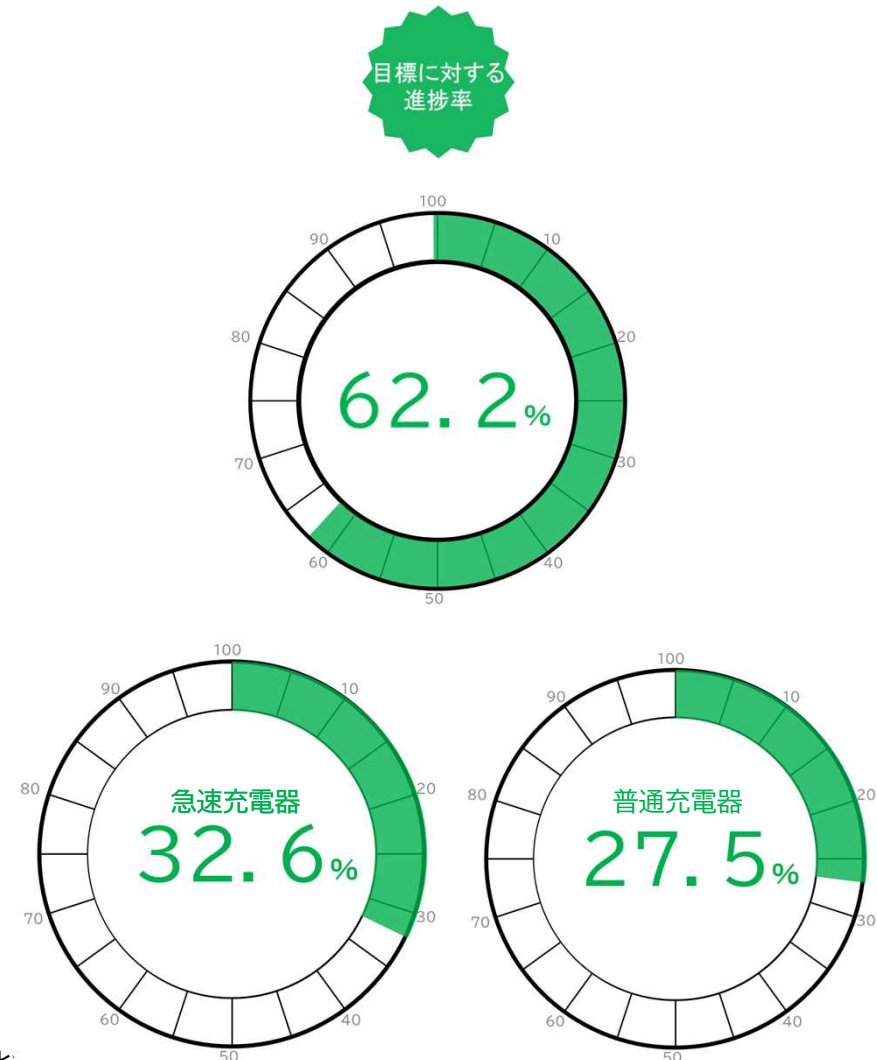
年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
事業者数	252	247	237	252	247	252	248	248	247

■EV・PHV用の充電器設置台数

電気自動車充電器		(参考)商用水素ステーション
急速充電器(基)	普通充電器(基)	(基)
127	429	1

2023年3月時点

(資料)商用水素ステーション:燃料電池実用化
充電器台数:GOGOEVウェブサイト

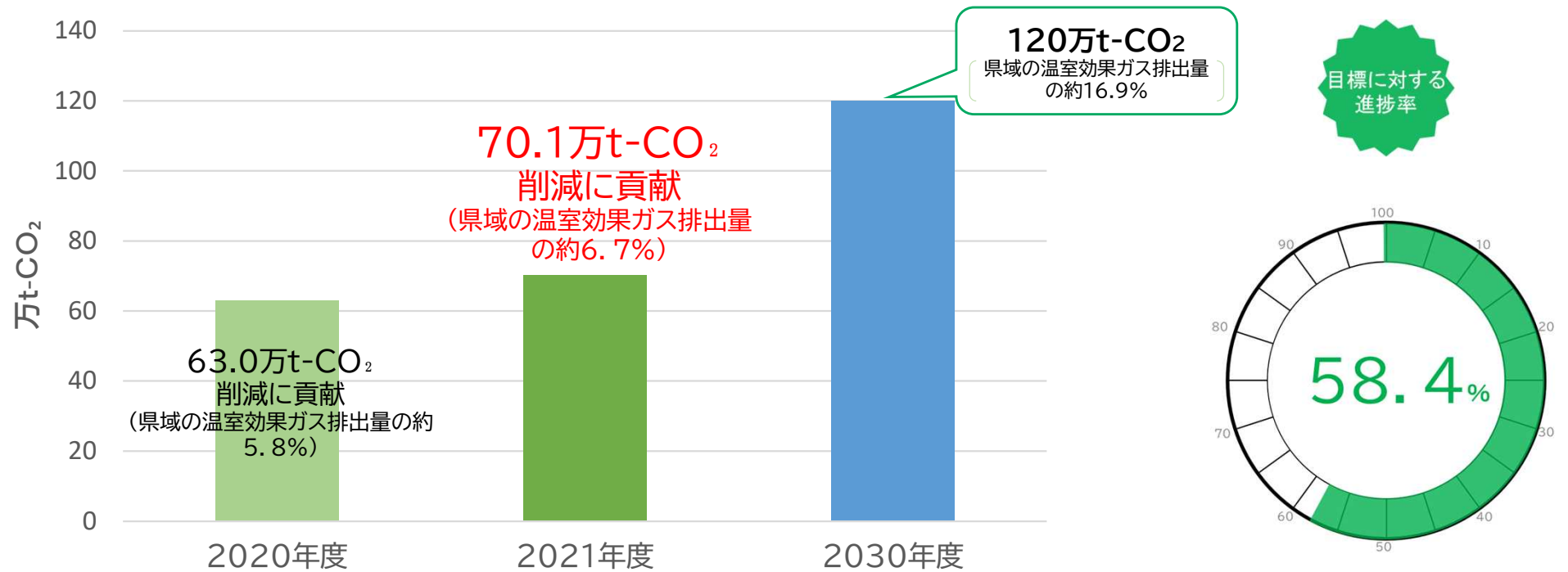


対策数値指標3

2030年度目標

事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減貢献量 120万t-CO₂

■事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減貢献量



※算定方法の統一により、2020年度の数値を修正

対策数値指標4

2030年度目標

モデル的な地域の取組として県が選定する活動の件数(2022年～2030年累計) 20件以上
下水道施設から得られたバイオマスの燃料化による温室効果ガス排出削減の貢献量 8,600t-CO₂

■脱炭素先行地域の選定件数 2件

令和4年度 2件(米原市・湖南省)

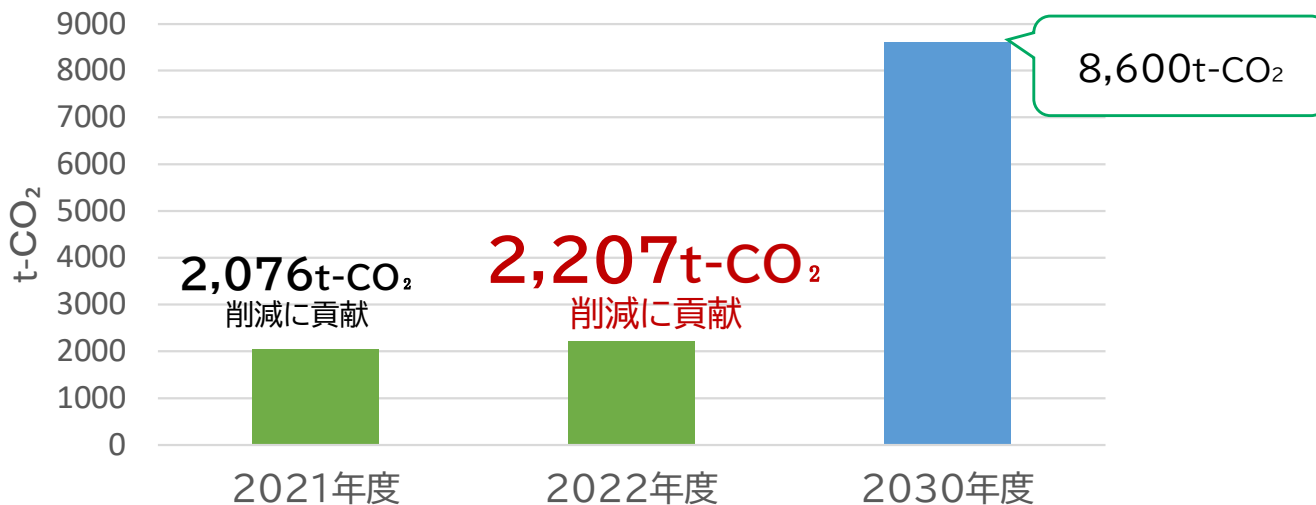
■しがCO₂ ネットゼロみらい賞・地域づくり部門表彰件数 2件

令和4年度 1件(竜王町エコライフ推進協議会)
令和3年度 1件(近江八幡市桐原学区協働まちづくり協議会)

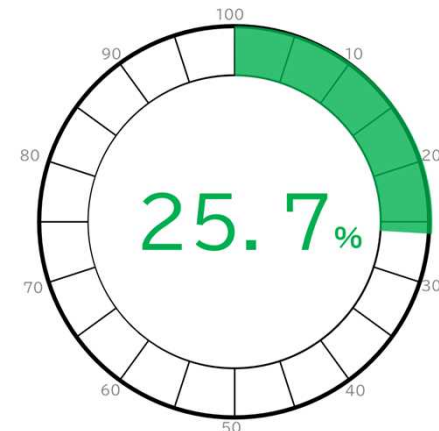
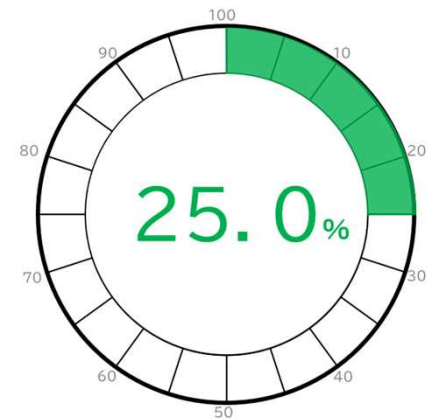
■バイオマス産業都市の選定件数 1件

令和4年度 1件(竜王町バイオマス産業都市構想)

■下水道施設から得られたバイオマスの燃料化による温室効果ガス排出削減の貢献量



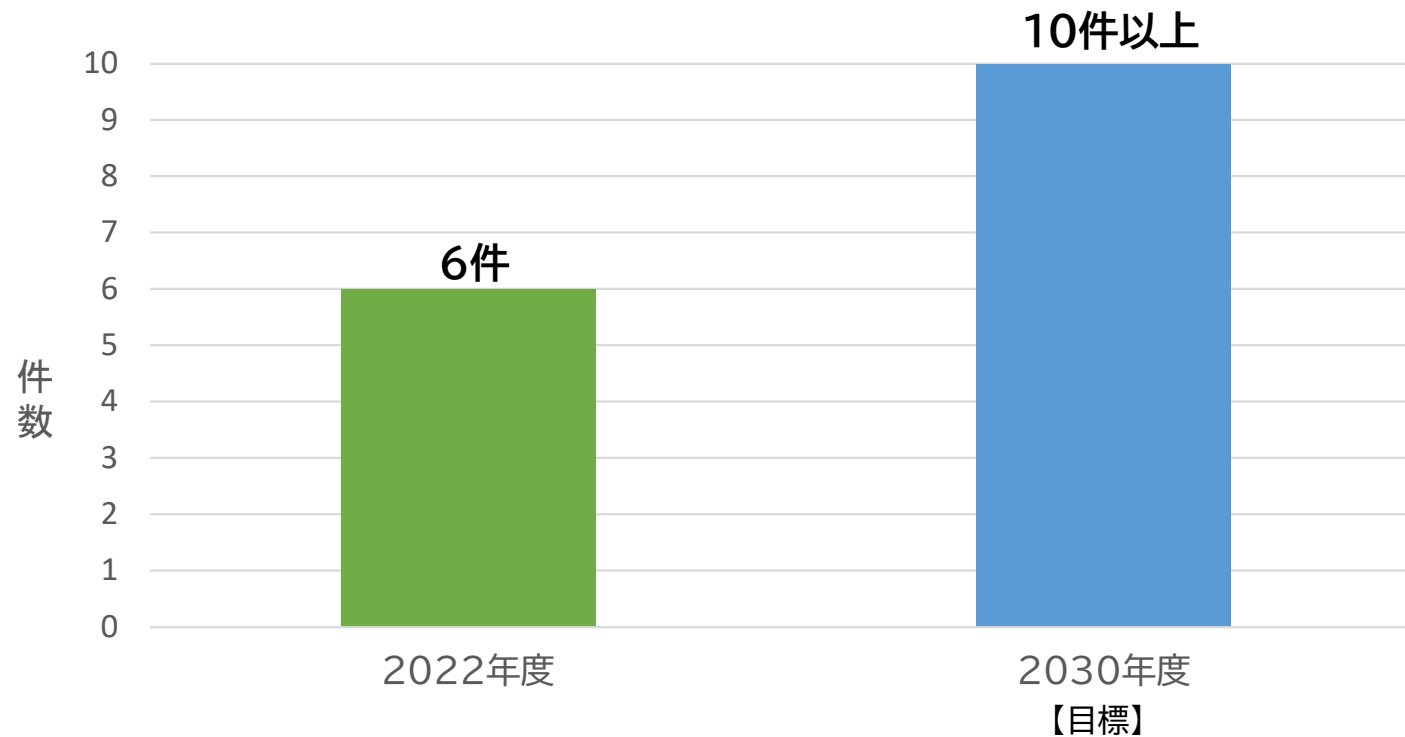
目標に対する
進捗率



2030年度目標

イノベーションにつながる新たなプロジェクトの件数(2022年~2030年累計) 10件以上

■近未来技術の社会実装につながる実証実験の採択件数



対策数値指標6

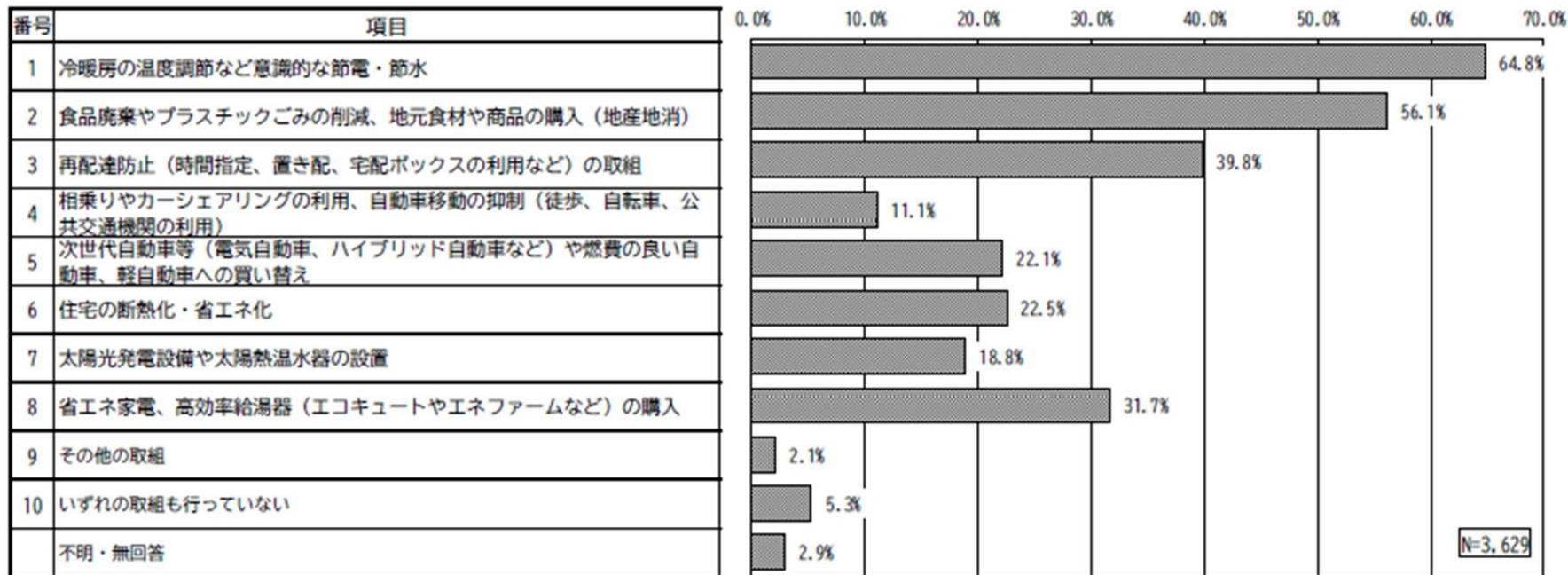
2030年度目標

「CO₂ネットゼロにつながる取組を行っている」と回答する県民の割合 100%

Q.既に取り組んでいるCO₂ネットゼロにつながる取組を選んでください。(〇はいくつでも)

自然災害や気温の上昇、生態系の変化など、本県においても温室効果ガスの増加による地球温暖化の影響は深刻なものとなっています。そういった影響を防ぐため、滋賀県はCO₂ネットゼロ(温室効果ガス排出量実質ゼロ)につながる取組を推進しています。

⇒ 「CO₂ネットゼロにつながる取組を行っている」と回答する県民の割合 **91.8%**(R4年度91.8%)
 不明・無回答を除く場合、94.7% (R4年度 94.4%)



(資料)第56回県政世論調査(令和5年7月10日から令和5年7月26日)有効回収率62.7%

対策数値指標7

2030年度目標

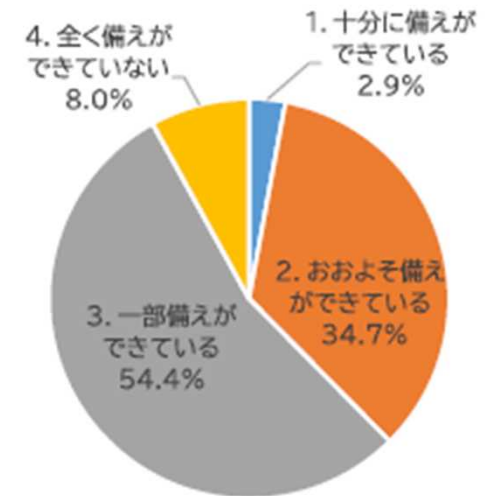
「気候変動リスクへの備えができている」と回答する県民の割合 **60%**

Q.熱中症、浸水、土砂災害といった気候変動による災害リスクについて、十分に備えができていますか。あなたの状況に最も近い選択肢を選んでください。(○は1つだけ)

⇒ 十分またはおおよそ備えができていまする県民の割合 **37.6%(R4年度35.8%)**
 一部備えができていまする県民を含めると92.0% (R4年度 89.5%)

A.回答結果

項目	人数(人)	割合(%)
1.十分に備えができています	8	2.9%
2.おおよそ備えができています	95	34.7%
3.一部備えができています	149	54.4%
4.全く備えができていない	22	8.0%
合計	274	100.0%

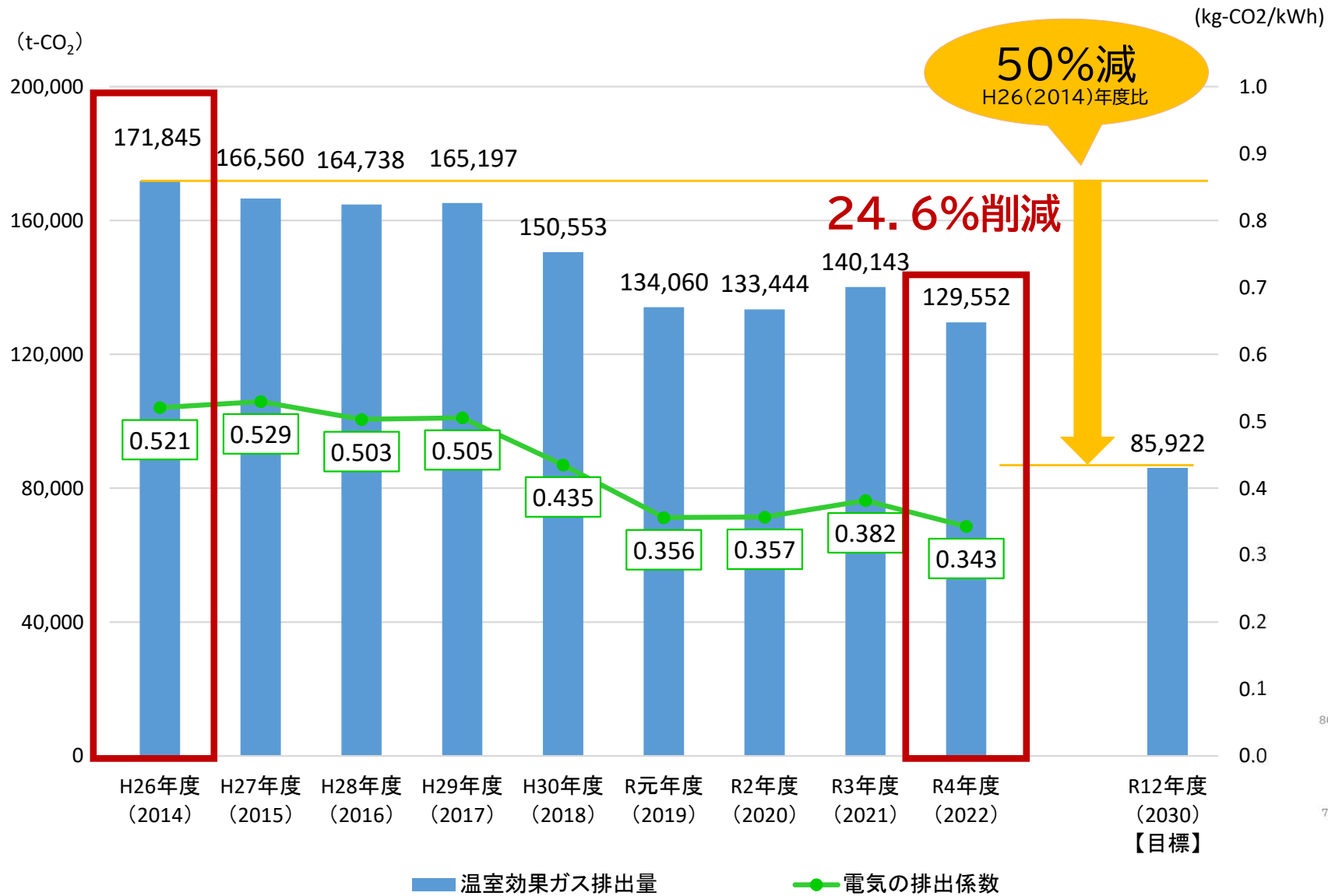


(資料)令和5年度県政モニターアンケート調査 (令和5年7月) 回収率92.6%

対策数値指標8

2030年度目標

県庁における温室効果ガス排出量(2014年度比) 50%削減



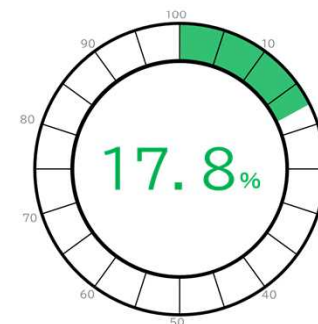
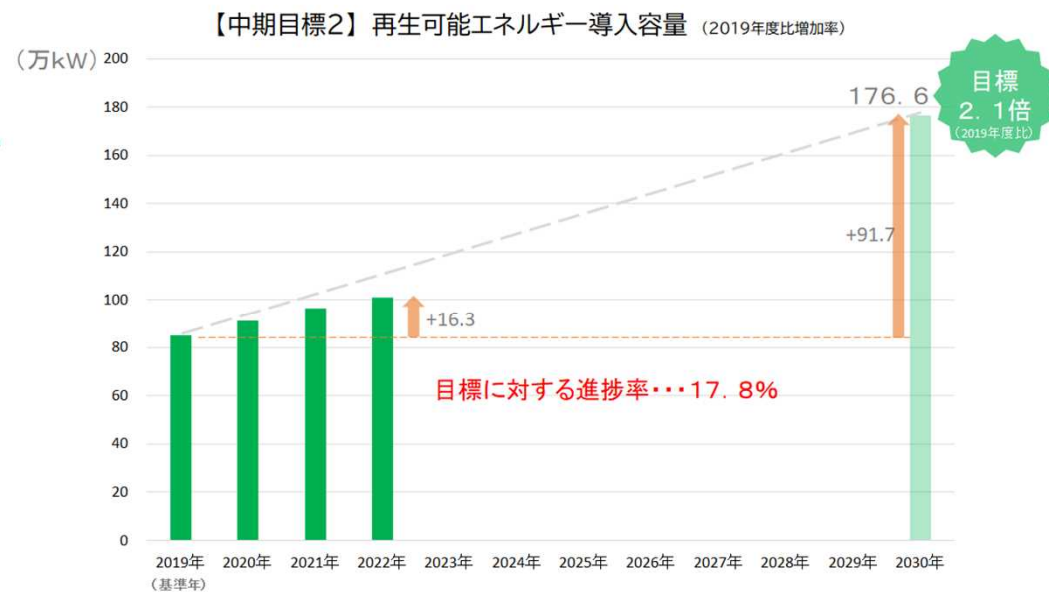
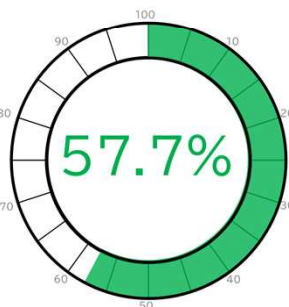
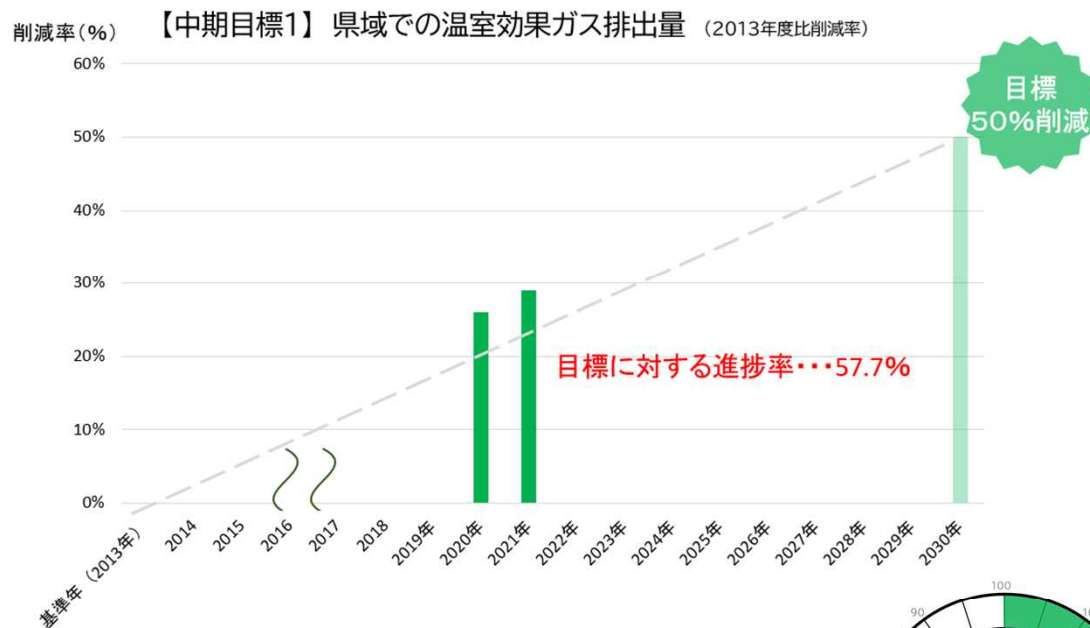
対策数値指標一覧

計画柱	目標(2030年度)	実績
【1】CO ₂ ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換	<ul style="list-style-type: none"> ■県民1人あたりのCO₂排出量 67%削減(2013年度比) ■県内の乗用車の新車販売に占める次世代自動車等の割合70% 	<ul style="list-style-type: none"> ■31% ■50.1%
【2】自然環境と調和するCO ₂ を排出しない地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減量 50%削減(2013年度比) ■EV・PHV用の充電器設置台数 急速充電器 390基 普通充電器 1,560基 	<ul style="list-style-type: none"> ■31.1% ■急127基、普429基
【3】新たな価値を生み出し競争力のある産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減貢献量 120万t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> ■70.1万t-CO₂ (2021年度実績)
【4】資源の地域内循環による地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■モデル的な地域の取組として県が選定する活動の件数(2022年～2030年累計) 20件以上 ■下水道施設から得られたバイオマスの燃料化による温室効果ガス排出削減の貢献量 8,600t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> ■5件 ■2,207t-CO₂
【5】革新的なイノベーションの創出	<ul style="list-style-type: none"> ■イノベーションにつながる新たなプロジェクトの件数(2022年～2030年累計) 10件以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■6件
【6】CO ₂ ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出	<ul style="list-style-type: none"> ■「CO₂ネットゼロにつながる取組を行っている」と回答する県民の割合 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ■91.8%
【7】気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ■「気候変動リスクへの備えができている」と回答する県民の割合 60% 	<ul style="list-style-type: none"> ■37.6%
【8】県における率先実施	<ul style="list-style-type: none"> ■県庁における温室効果ガス排出量(2014年度比) 50%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■24.6%(2022年度実績)

各指標の「目標に対する進捗率」の考え方(参考)

計画の中期目標および各対策数値指標ごとに、2030年度目標値に対する直近の実績を進捗率として示している。
 なお、CO2ネットゼロ社会づくりは**中長期的**な視点で取り組むもので、**イノベーション**などにより急速に普及する可能性がある分野もあるため、年度ごとの目標値については定めていない。
 下記のグラフについては、あくまで**参考として**、基準年から目標年まで比例的に進捗した場合の目安を点線で示している。

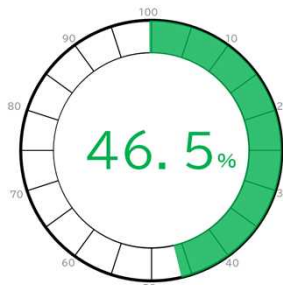
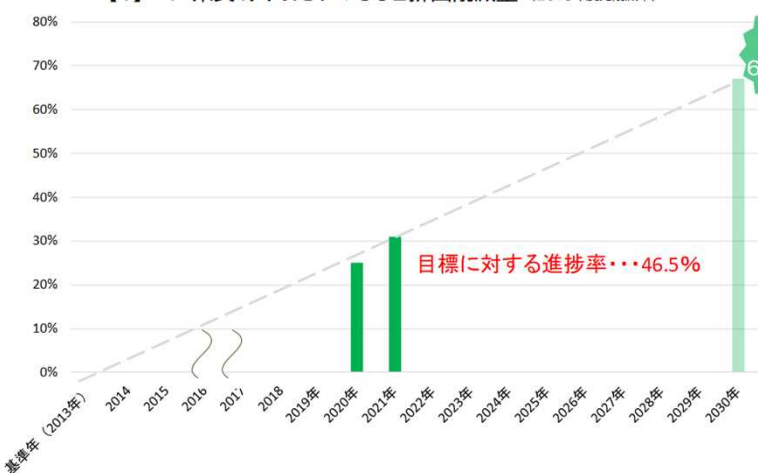
※点線はあくまで参考(目安)



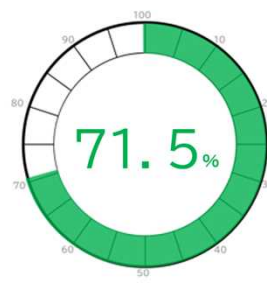
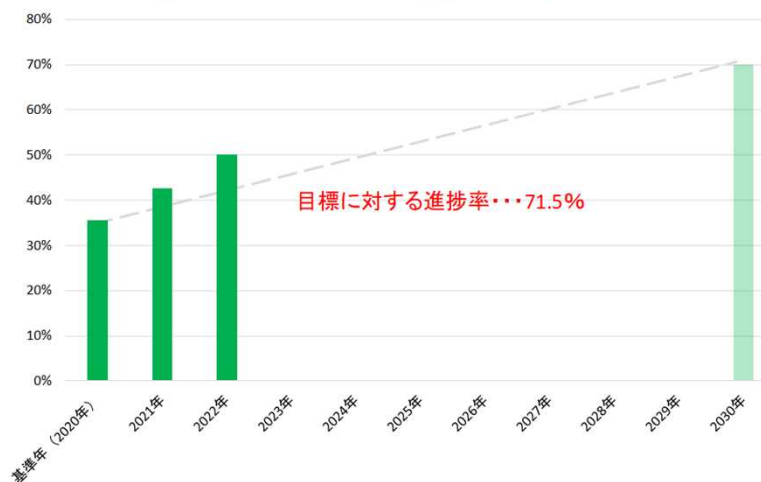
目標に対する進捗率(参考)

※点線はあくまで参考(目安)

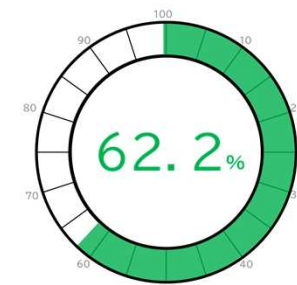
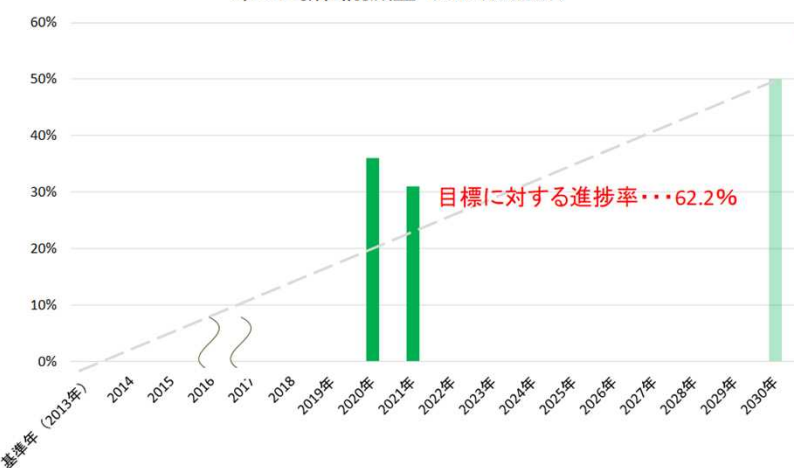
削減率(%)【1】-1 県民1人あたりのCO2排出削減量 (2013年度比削減率)



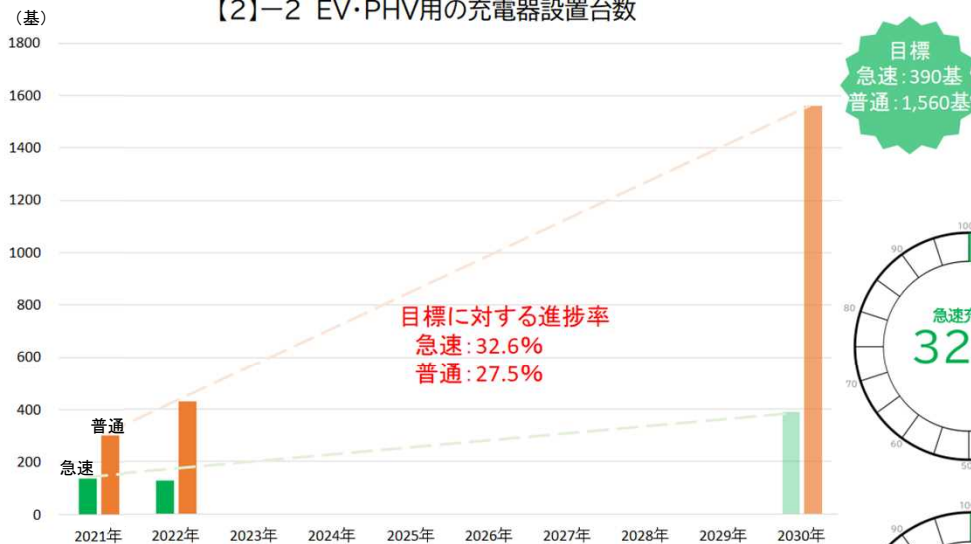
【1】-2 県内の乗用車の新車販売に占める次世代自動車等の割合



削減率(%)【2】-1 事業者行動報告書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減量 (2013年度比削減率)



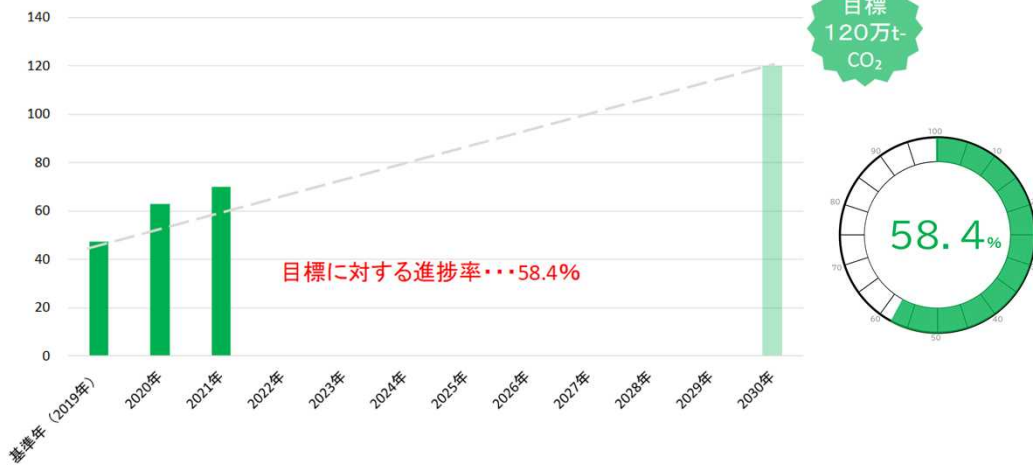
【2】-2 EV・PHV用の充電器設置台数



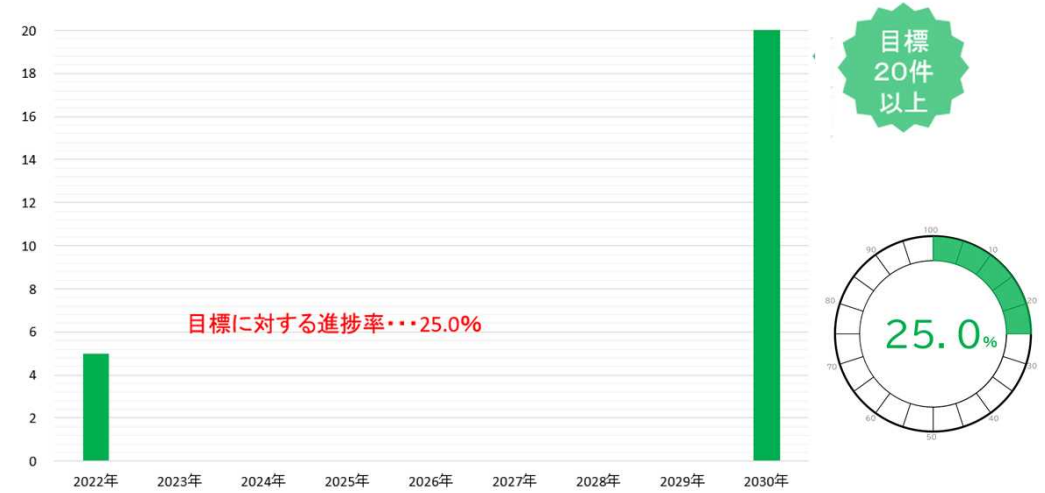
目標に対する進捗率(参考)

※点線はあくまで参考(目安)

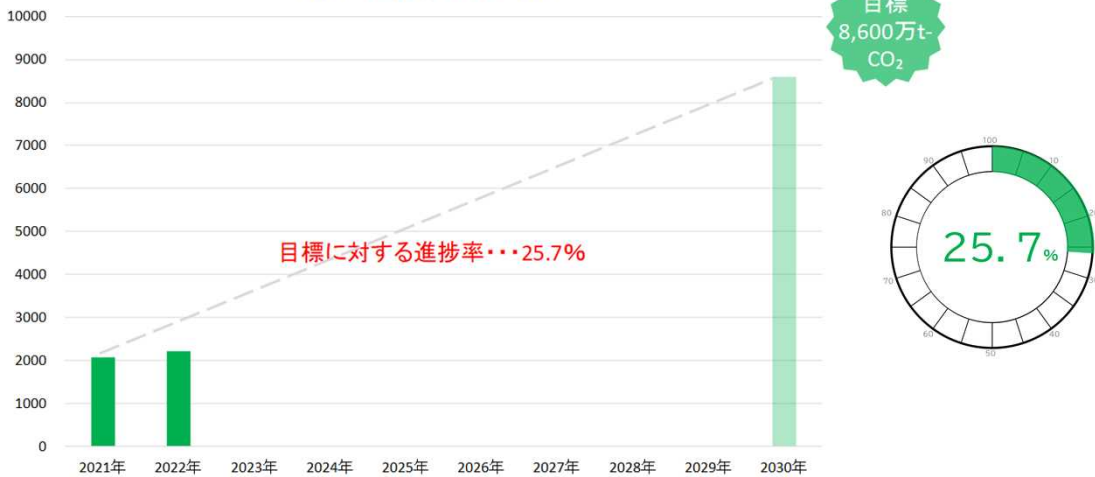
【3】 事業者行動計画書の対象事業者(義務提出者)の温室効果ガス排出削減貢献量



【4】-1 モデル的な地域の取組として県が選定する活動の件数 20件以上



【4】-2 下水道施設から得られたバイオマスの燃料化による温室効果ガス排出削減の貢献量



【5】 イノベーションにつながる新たなプロジェクトの件数



目標に対する進捗率(参考)

※点線はあくまで参考(目安)

【6】「CO₂ネットゼロにつながる取組を行っている」と回答する
県民の割合



【7】「気候変動リスクへの備えができている」と回答する県民の割合



削減率(%) 【8】 県庁における温室効果ガス排出削減量 (2014年度比削減率)

